

鹿市医郷壇



526 樋口 一風 選

兼題「気温」（はだもつ）

天

紫南支部 加治屋 犬好
気温が土瓶を出させた月見焼酎

（唱）芋ん肴で満月つ祭つ
（評）田舎では、十五夜の夜は、白の上に、唐芋や里芋、すすき、栗など飾って十五夜さあに供えるものでした。飲兵衛親父は、言わずもがな、黒じよかで燗をした焼酎で、「良か晩な」と月見焼酎です。
焼酎は、コップでなくて。黒じよかが秋からは最高です。「土瓶を出させた」に良か気温つ感じます。

薩摩郷句鑑賞 166

薩摩狂句暦 三條風雲児著 から

捨て犬番地も知たし戻っ来っ

比良 純垂
よく「犬は三日飼えば、三年忘れないが、猫は三年飼っても、三日で恩を忘れる」と聞くものだった。愛猫家からは叱られるかも知れないが、結局、犬の利口さを言ったものであろうと思う。
大事にされて、土を踏ませてもらえない犬も可哀想だが、すぐ飽きて、世話をしなかったり、拳句の果ては捨てられる犬も少なくない。野犬が子供を襲った例もあるから怖い話。
ところで、捨てられた犬が、家の番地も知らないのに帰って来たのは、哀れな話である。

朝顔が小もなつきたや秋が来っ

織田 兵岳
こぼれた種子が芽を吹いた朝顔であろ
うか、庭の隅か垣根あたりに生えていて、夏からずっと花をつけつづけて来たのだろう。もちろん鉢植えにするような高級種でもあるまいし、豪華な花が咲くわけでもあるまいが、結局目を楽しませてくれたのであろう。
その花が、涼しくなるにつれて、だんだん小さい花になってきたところをとら

地

伊敷支部 谷山五郎猫
気温が良ち湯治養生で湯疲れしつ
（唱）良か按排じゃち長湯が間違げ
（評）暑かった夏も過ぎ、ようやく凌ぎやすい秋になり湯治でも行く気になりました。（原句には「出養生」とありましたが、「出養生」は入院のことです。「湯疲れしつ」ですから、湯治だろうと思います。）
季節も良くて、ゆったりとした気分になり、つい長湯をして湯疲れしたという句です。紅葉の頃の露天風呂は、「なんちゆあならん」でしょう。

人

清滝支部 鮫島爺児医
気温が良かで外出いが多か十月
（唱）コロナと暑せ籠つおったで
（評）今年の夏は、コロナも完全に収束したわけではなく、交通機関にはまだマスクをかけて乗っている状態だし、なにせ暑かった。昼は猛暑が続き、夜は熱帯夜続きであった。
だから外出をするにも二の足を踏む状態であった。彼岸でも過ぎると少しは気温も下がるであろう。その時は夫婦で外出しましょうと奥様に誘われました。

えたもの。萩も咲きはじめて、いよいよ秋である。

薩摩郷句誌 渋柿八三〇号雑吟から

窪 三難坊
視聴率つ一人で取った一刀流
（唱）日本中が翔平ゆ観ろち

湯田 青秋
台風をばぐりつち曲げたエルニーニョ
（唱）鹿児島め来んじよかち思どん

西田 郷花
楽し事つ何か見しけつ今日を暮れつ
（唱）人生ゆ悟つ楽しか余生

西 幸子
常識も昭和は古りち切捨てつ
（唱）古いも新かも無真理は一つ

前村 泰山
年金ぬ貰る始た女房が強よけなつ
（唱）自由な金な鬼に金棒

有馬 有聲
裏声が三味線の音調い見事つ乗つ
（唱）妖しゆ切な島人ん情

紫南支部 二軒茶屋電停
朝屋の気温の差で精が切れつ
（唱）朝はすーすで昼やまだ真夏

上町支部 吉野なでしこ
盆過ぎも暑き気温で苛されつ
（唱）日中あ猛暑夜は熱帯夜

伊敷支部 谷山五郎猫
気温の良か日は縁側で爺は斬
（唱）ほつかほつかで睡魔い負けつ

清滝支部 鮫島爺児医
旅行しな気温の良か季節ちなつ
（唱）紅葉狩いやらコスモスやらち

上町支部 吉野なでしこ
打つ水で気温つ変えつ我慢つ居つ
（唱）真夏日なんだ気いせじ良かる

秀逸

清滝支部 鮫島爺児医
氣候も良して老人も農業き励つ
台風せか来んな気温の良か十月

上町支部 吉野なでしこ
彼岸ずや暑き気温でいこそな態

伊敷支部 谷山五郎猫
気温が良かや猫もやれ昼寝
気温の良か収穫期で美味め焼酎

中村 木強
稲ん穂が黄色ろ垂れつ嬉し秋
（唱）手間暇かけた苦勞が実つ

井戸川 三鶴
物価高けチラす比較ぶい婆ん日課

柳村 遊月
色気どま丸で無女房んコップ焼酎

郷句募集

◎11号
題吟「新米（しんめ）」
締切 令和5年11月6日（月）
◎12号
題吟「気忙し（きせわし）」
締切 令和5年12月5日（火）
◇選者 樋口 一風
◇漢字のわからない時は、カナで書いてご応募くだされば選者が適宜漢字をあてさせていただきます。
◇応募先 千八九二一〇八四六
鹿児島市加治屋町三番一〇号
鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係
TEL 〇九九一二六二三三七
FAX 〇九九一二五〇九六〇九九
E-mail: ihou@city.kagoshima.ned.or.jp